

2019年3月28日

各位

会社名 株式会社 NATTY SWANKY
代表者名 代表取締役社長 井石 裕二
(コード番号: 7674 東証マザーズ)

問合せ先 取締役 金子 正輝
管理部 長
(TEL. 03-5909-3013)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日2019年3月28日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後ともなお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2019年6月期(2018年7月1日から2019年6月30日まで)における当社の業績予想は、次のとおりであります。また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

(単位:百万円、%)

項目	2019年6月期 (予想)			2019年6月期 第2四半期累計期間 (実績)		2018年6月期 (実績)	
	対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率	
売上高	4,002	—	36.2	1,885	—	2,939	—
営業利益	339	8.5	101.9	135	7.2	168	5.7
経常利益	320	8.0	103.5	134	7.1	157	5.4
当期(四半期)純利益	232	5.8	107.8	96	5.1	112	3.8
1株当たり当期 (四半期)純利益	135円34銭			60円05銭		69円67銭	
1株当たり配当金	—			—		—	

(注) 1. 2018年6月期(実績)及び2019年6月期第2四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。

2. 2019年6月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募株式数(430,000株)を含めた予定期中平均発行株式数により算出しております。

3. 2018年5月2日付で普通株式1株につき100株の株式分割を、2018年11月20日付で普通株式1株につき60株の株式分割を行っておりますが、上記では、2018年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算

出しております。

【2019年6月期業績予想の前提条件】

1. 当社全体の見通し

当社を取り巻く環境といたしましては、日本の人口は減少傾向にありますが、外食業界のマーケットは25.4兆円(2017年度)(出典：一般社団法人日本フードサービス協会)と依然として大きく、当社は餃子専門居酒屋として、顧客ニーズを汲み取りつつ、出店を継続することにより、堅調な推移を示すものと見込んでおります。

また2019年6月期の出店は直営店純増12店舗及びフランチャイズ店(以下、FC店)純増5店舗を計画しておりますが、2018年6月期において直営店純増14店舗、FC店純増3店舗を出店しておりますので、出店は順調に推移していくものと見込んでおります。

このような状況のもと、2019年6月期末においては直営店55店舗、FC店22店舗の合計77店舗体制を計画しております。店舗数の増加に伴い、当社の2019年6月期の業績は、売上高4,002百万円(前期比36.2%増)、営業利益339百万円(前期比101.9%増)、経常利益320百万円(前期比103.5%増)、当期純利益232百万円(前期比107.8%増)と増収増益を予想しております。

2. 業績予想の前提条件

当社は2019年1月30日の臨時取締役会で2019年6月期修正予算を決議しております。

これは、2018年12月時点における上期実績を使用し、下期においては、予算値を使用して算出したものであります。

(1) 売上高 — 以下は下半期予算の算出方法です。 —

売上高は、直営店売上高、FC売上高、製品卸売上高、その他売上高に大別されます。

さらに、直営店売上高は、既存店売上高・準既存店売上高・新規店売上高に区分されております。社内では既存店はオープン後19ヵ月以降、準既存店はオープン後18ヵ月以内として管理しております。

既存店売上高は店舗毎の前年の売上高実績の月平均売上高の98%程度に季節指数(※)を乗じて月別に予想売上高を算出しております。準既存店売上高はオープン8ヵ月以降の実績値平均を店舗基準値とし、18ヶ月目までは、店舗基準値の98%程度に季節指数を乗じて算出しております。19ヶ月目以降は店舗毎の前年の売上高実績の月平均売上高の98%程度に季節指数(※)を乗じて月別に予想売上高を算出しております。新規店売上高は、当社の過去出店店舗の月平均売上高に上下25%ずつの極端な売上高のある店を除外した平均値で算出し、出店スケジュールに従って月別に予想売上高を算出しております。

なお、2019年6月期の出店状況につきましては、2018年12月の上期において、直営店5店舗を出店しており、下期は新規直営店出店のペースを加速し9店舗を見込んでおります。これは、直営店舗出店の純増12店舗に対し、賃貸借契約の満了に伴う既存店舗の退店も加味しております。また、FC店舗につきましては、2019年6月期において純増5店舗を想定しております。2018年12月の上期において2店舗を出店しており、下期は3店舗を見込んでおります。

FC売上高については、のれん代・加盟契約金に大別されます。のれん代は契約書に基づき算出しております。加盟契約金は出店スケジュールに従って月別に算出しております。

製品卸売上高については、流通業者からのリポート及び流通業者への販売数量を月別に過去の実績に基づき算出しております。流通業者からのリポート及び販売数量はFC店出店に影響を受けるため、FC店出店計画に基づき増加数を加算して計算しております。

その他売上高については、メーカー等からのリポート及び転貸物件の賃借料が主であり、メーカー等からのリポートについては、既存契約に基づき出店スケジュールに合わせて月別に計上しております。また、転貸物件の賃借料については、前年実績に基づき算出しております。

以上の結果、2019年6月期の直営売上高は店舗数の増加により3,742百万円(前期比37.4%増)、FC売上高は78百万円(前期比55.9%増)、製品卸売上高147百万円(前期比9.8%増)、その他売上高34百万円(前期比9.1%増)となり、売上高合計は4,002百万円(前期比36.2%増)を見込んでおります。

※季節指数は年間の売上高を12ヶ月で除して平均月売上高を算出し、月売上高実績を平均月売上高で除して月売上高の上下を指数化したものです。

(2) 売上原価、売上総利益 — 以下は下半期予算の算出方法です。 —

直営店及び製品卸売上原価については2%程度の物価上昇を考慮しておりますが、それに相応する新規出店に伴うスケールメリットを反映して算出しております。

よって、当社全体の原価率は同水準を見込んでおります。

FC売上高、その他売上高には売上原価がありません。

以上の結果、2019年6月期の直営売上原価は1,092百万円(前期比36.3%増)、製品卸売上原価は100百万円(前期比10.1%増)となり、売上原価合計は1,192百万円(前期比33.6%増)を見込んでおります。

(3) 販売費及び一般管理費 — 以下は下半期予算の算出方法です。 —

販売費及び一般管理費については、人件費(給料及び手当、雑給)とその他経費に区分して算出しております。

人件費については、2018年6月期の人件費率27.8%を基に算出し、既存従業員の昇給や新規出店による増員を加味して算出した結果、2019年6月期の人件費率は27.6%で推移す

ることを前提としております。

その他経費については、2018年6月期実績を基準として、変動費（消耗品費・水光熱費など）と固定費（地代家賃・減価償却費など）に区分し、変動費については2018年6月期の構成比率を基に予想売上高の増加を加味し予想しております。

固定費については、既存店は店舗別に2018年6月期実績で算出し、新規店についても同様に2018年6月期実績の平均を用いて店舗別に計上しております。

以上により、2019年6月期の販売費及び一般管理費は2,469百万円(前期比31.5%増)を見込んでおります。

(4) 営業外損益 — 以下は下半期予算の算出方法です。 —

出店に伴う銀行借入による支払利息を、出店スケジュールに基づき月別に計上しております。

(5) 特別損益 — 以下は下半期予算の算出方法です。 —

現時点において見込んでおりません。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績につきましては、様々な要因によって異なる場合があります。

以上

2019年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年3月28日

上場会社名 株式会社NATTY SWANKY 上場取引所 東
 コード番号 7674 URL http://nattyswanky.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)井石 裕二
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 管理部長 (氏名)金子 正輝 (TEL) 03-5909-3013
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第2四半期の業績 (2018年7月1日~2018年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第2四半期	1,885	—	135	—	134	—	96	—
2018年6月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第2四半期	60.05	—
2018年6月期第2四半期	—	—

- (注) 1 当社は、2018年6月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2018年6月期第2四半期の実績並びに2018年6月期第2四半期及び2019年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
- 2 当社は、2018年11月20日付で普通株式1株につき60株の割合で株式分割を行っておりますが、2019年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。
- 3 2019年6月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、2019年6月期第2四半期において当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第2四半期	1,869	299	16.0
2018年6月期	1,660	202	12.2

(参考) 自己資本 2019年6月期第2四半期 299百万円 2018年6月期 202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	—	—	—	—
2019年6月期	—	—	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の業績予想 (2018年7月1日~2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,002	36.2	339	101.9	320	103.5	232	107.8	135.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期2Q	1,608,000株	2018年6月期	1,608,000株
② 期末自己株式数	2019年6月期2Q	—株	2018年6月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期2Q	1,608,000株	2018年6月期2Q	—株

- (注) 1 当社は、2018年6月期第2四半期においては四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。
- 2 2018年11月20日付けで普通株式1株につき60株の割合で株式分割を行っておりますが、2018年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 四半期財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期貸借対照表	2
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5

1. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	466,434	534,717
売掛金	26,186	26,264
商品及び製品	13,800	27,943
原材料及び貯蔵品	5,503	121
その他	109,430	114,226
流動資産合計	621,356	703,274
固定資産		
有形固定資産		
建物	813,488	909,375
減価償却累計額	△168,910	△185,603
建物(純額)	644,578	723,771
その他	148,591	166,840
減価償却累計額	△73,072	△88,181
その他(純額)	75,518	78,659
有形固定資産合計	720,096	802,431
無形固定資産		
ソフトウェア	375	316
無形固定資産合計	375	316
投資その他の資産		
敷金差入保証金	237,857	276,503
その他	84,208	89,510
貸倒引当金	△3,084	△2,894
投資その他の資産合計	318,981	363,119
固定資産合計	1,039,453	1,165,867
資産合計	1,660,810	1,869,141

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	103,239	133,050
1年内返済予定の長期借入金	263,343	404,464
未払法人税等	32,150	45,453
その他	292,454	293,825
流動負債合計	691,187	876,793
固定負債		
長期借入金	724,741	635,839
その他	42,246	57,303
固定負債合計	766,988	693,142
負債合計	1,458,175	1,569,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,400	13,400
利益剰余金	189,234	285,805
株主資本合計	202,634	299,205
純資産合計	202,634	299,205
負債純資産合計	1,660,810	1,869,141

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
売上高	1,885,923
売上原価	575,966
売上総利益	1,309,956
販売費及び一般管理費	1,174,661
営業利益	135,295
営業外収益	
助成金収入	5,130
その他	845
営業外収益合計	5,975
営業外費用	
支払利息	4,599
その他	2,286
営業外費用合計	6,886
経常利益	134,385
特別利益	
店舗売却益	5,070
特別利益合計	5,070
税引前四半期純利益	139,455
法人税等合計	42,884
四半期純利益	96,570

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。